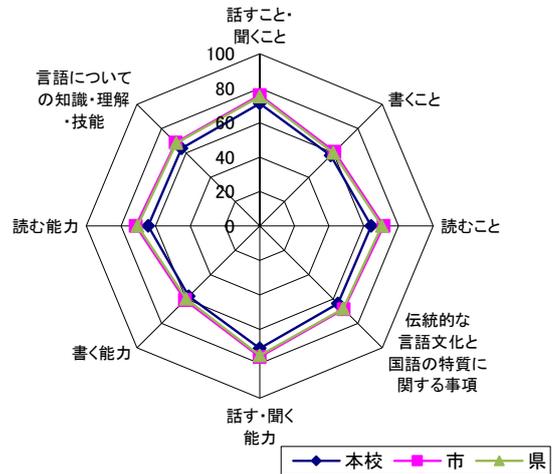


宇都宮市立 宝木 中学校 第2学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	71.1	76.0	75.2
	書くこと	57.8	60.9	59.9
	読むこと	64.3	71.4	70.4
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	63.7	68.5	68.0
観点	話す・聞く能力	71.1	76.0	75.2
	書く能力	57.8	60.9	59.9
	読む能力	64.3	71.4	70.4
	言語についての知識・理解・技能	63.7	68.5	68.0



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>県、市の平均よりも低い状況である。</p> <p>○授業において、話すこと・聞くことに対する意欲は高まりつつある。</p> <p>●目的や場に応じて自分の考えを話したり、話し手の意図を考えながら話の内容をポイントをおさえて聞き取ったりすることが苦手である。</p>	<p>・「話す・聞く」の単元の指導を強化し、ポイントをおさえた話し方・聞き取り方の指導を行う。</p> <p>・一分間スピーチを取り入れ、自分の意見や考えを述べる活動を授業に取り入れる。</p> <p>・「聞き取りテスト」を実施するにあたり、聞くときのメモの取り方を指導し、話し手や内容の要点を聞き取る学習をする。</p>
書くこと	<p>県、市の平均よりも低く、他の領域に比べても低い状況である。</p> <p>●書くことに対して苦手意識の強い生徒が多い。</p> <p>●文章問題から答えを抜き出す問題に比べて、無解答も若干だが多い。</p>	<p>・文章全体の構成を考えて書く力を強化するため、文章の組み立て方などの指導を丁寧に行う。</p> <p>・字数・時間・条件などにあわせて記述する練習を授業に多く取り入れる。</p> <p>・単元の感想や意見など、短い文でも自分の考えが書ける活動を多く取り入れる。</p>
読むこと	<p>県、市の平均よりも低い状況である。</p> <p>●説明的文章の読解に苦手意識が強く、無解答も多い。</p> <p>●少し長い文章になると、文章に出てくる言葉の意味がわからなかったり、文章の趣旨が抑えられなかったりしている傾向がみられる。</p>	<p>・文章読解の単元では、特に何について論じられているのか、筆者は何が言いたいのかをとらえる指導を丁寧に行う。</p> <p>・短い文章で内容を要約するトレーニングを取り入れて、文の大切なところをおさえる学習をする。</p> <p>・論説文では、段落の役割や事実と意見の部分を正確にとらえることで、筆者が一番言いたいことをとらえられるような授業を行う。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>県、市の平均よりも低い状況である。</p> <p>○漢字の読み書きの問題では、市の平均を上回っているものもある。</p> <p>●語彙力が低く、言葉を的確に使うことが難しい生徒が多いため、自分の考えていることが正確に伝わらない場面が多くみられる。</p>	<p>・漢字ノートを活用して単元の漢字練習を課題とし、単元末の漢字テストの実施を定期的に行っているため、今後も継続していく。</p> <p>・ことわざや慣用句、文法の単元では、特に丁寧に指導を行い、理解の定着をはかっていく。</p>